

平成23年4月17日

今週のベストショット



H23. 4. 17 青松園B 三苦ホーネッツ対ソルトベイスターズ

4打数4安打4打点の三苦ホーネッツ矢野選手。高いレベルの走攻守に加えて投もこなすホーネッツの核弾頭が縦横無尽にグラウンドを駆け巡る。(写真：奈多サンデーズ 八島久徳)

奈多グラウンド

塩浜ジャガーズ	30000	3	負投手：山中	HR：立石
三友クラブ	20113	7	勝投手：足達	HR：松尾

初回ジャガーズは三友の先発福山から立石のHRで3点先制。三友クラブもその裏すぐに2点を返す。その後ジャガーズの山中をじわじわ攻め三回裏に松尾のホームランで追いつくと、四回裏杉山のヒットでついに逆転。初回到福山の後に登板した足達を打ちあぐねていたジャガーズも五回、二死満塁と再逆転のチャンスを作るも稗田のあたりを三友センター松尾が好捕し万事休す。(記事：ソルトベイスターズ 田中裕次郎)



ジャガーズ稲富選手のセーフティバント。



それを処理する三友クラブ福山投手。

## 青松園A 第1試合

奈多クラブ 3 4 2 0 2 0 1 1 今林 (瑠)  
雁の巣ライナーズ 2 3 0 0 0 6 1 1 今林 (貢) HR : 中口

試合は序盤点の取り合いとなる。まずは初回。奈多クラブは六番安部の2点タイムリーなどで3点を先取。負けじとライナーズも2点を返すも、奈多クラブは二回に相手の連続エラーにも乗じて4点を追加し突き放す。その後もお互い点を取り合い、迎えた最終回。ライナーズは3点差とし、六番中口が値千金の3ランを放ち、引き分けへと持ち込んだ。奈多クラブは掴みかけた勝利を目前で逃した。

(記事 レッドサンデーズ 鳥羽晃弘)



最終回起死回生の3ランでチームの危機を救った中口選手。  
実力派チーム同士の手汗握る攻防は最後までわからない。

## 青松園A 第2試合

奈多フェニックス 1 0 3 0 6 0 0 1 0 勝投手 : 池見 HR : 今林(勇)  
レッドサンデーズ 0 0 1 0 0 0 0 1 負投手 : 土師 HR : なし

開始早々フェニックスは先頭打者、今林(勇)の本塁打により早くも先制すると、三回表にも今林(文)のタイムリーなどで3点を追加。一方、反撃といきたいレッドサンデーズであったが、フェニックス池見の前に三回裏に守備陣の連携ミスによって挙げた1点のみに抑えられる。更にフェニックスは五回にも下位打線を中心に打線が奮起し、一挙6点を追加する。大量援護をもらった池見は、レッドサンデーズ打線を6安打1失点に抑える好投。投打のかみ合ったフェニックスに軍配が上がった。

(記事 : 雁の巣ライナーズ 明瀬旭)



前回パイレーツに打ち勝ったレッドサンデーズを抑えるフェニックス池見投手の好投。



## 青松園B 第1試合

奈多サンデーズ 10083 12 勝投手：江口 HR：田中（俊）  
新町ウインズ 00020 2 負投手：早田 HR：なし

初回サンデーズが幸先よく1点を先制するものの、二回、三回と江口、早田の力投で投手戦となった。しかし四回サンデーズは三番田中のHRをきっかけに打者13人の猛攻で8点を挙げた。ウインズもその裏2点を返すが五回にサンデーズが3点を加え終わってみれば自力に勝るサンデーズがコールド勝ち。サンデーズは新入団選手、復帰選手、現行選手が上手く咬み合って今年も手怖そうです。

（記事：三苦ホーネッツ 松尾卓）



奈多サンデーズのムードメーカー木下の活躍が刺激となり大量点を生む。

## 青松園B 第2試合

三苦ホーネッツ 104402 11 勝投手：井手 HR：なし  
ソルトベイスターズ 000000 0 負投手：鶴野 HR：なし

ホーネッツは一回表一番山崎のバントヒットと三番矢野のタイムリーで先制すると、三回表相手ミスに乗じて4点を奪い、続く四回も九番永島からの4連打で4点を奪う。四回裏ソルトも二死から四番田中（修）の初安打と五番中村（耕）との連打も得点には繋がらなかった。六回この日4安打4打点目が矢野に飛び出し、ホーネッツが昨年苦汁を舐めたソルトに完勝した。ホーネッツは10安打中9本が単打（二塁打1本）で、いかに機動力を発揮しているかが伺える。走れるチーム作りが強いチーム作りだといういい見本だ。昨年のリーグ覇者のソルトには、もっとプライドを持って試合に臨み、昨年の優勝がブラフではなかったことを証明してほしい。（記事：奈多サンデーズ 八島久徳）



ピッチャー返しを好捕した井手投手は四回を無失点。矢野投手との完封リレーで快勝！



強肩で安定した守備を見せるソルト坂本三塁手。

## 雁レクE

三苦フレンズ 00100 1 負投手：井上 HR：なし  
三苦三球会 3413× 11 勝投手：吉留 HR：なし

初回、三球会は四番小倉の三塁打等により3点を先制し、その後もフレンズ井上投手を打ち込み、毎回得点により計11点を叩き出した。一方、フレンズも好投の吉留投手を攻略すべく、右方向狙いのバッティングにより、三回表1点を返すも追加点が奪えず、五回コールドゲームとなった。

(記事：新町パイレーツ 石橋登)



春の藤本杯を制した三球会吉留投手の好調さが伺える。  
今シーズンの台風の目となりそう。



バッティングセンスが光ったフレンズ生野選手。  
他選手の活躍も待ち遠しい。

## 第3週編集後記

WSLの皆さんこんにちは！！

水曜日の朝1で全ての試合速報を更新したかったのですが、夜になってしまい、朝掲載されていなかった青松園A第1試合（奈多クラブ対雁ノ巣ライナーズ）、青松園B第1試合（奈多サンデーズ対新町ウインズ）の皆様ごめんなさい。

その青松園A第1試合の奈多クラブ対雁ノ巣ライナーズはソフトボールの面白さ、そして怖さを凝縮したような試合だったのではないのでしょうか？（詳しくは試合速報をご覧ください）試合後の両チームの笑顔が印象的でした。

それと、三球会・・・強いです。是非優勝を狙ってください！

ホーネットの矢野君は、約束どおり4安打目を放ち見事表紙を手に入れました。おめでとうございます。